

国民健康保険事業計画

令和 6 年度版



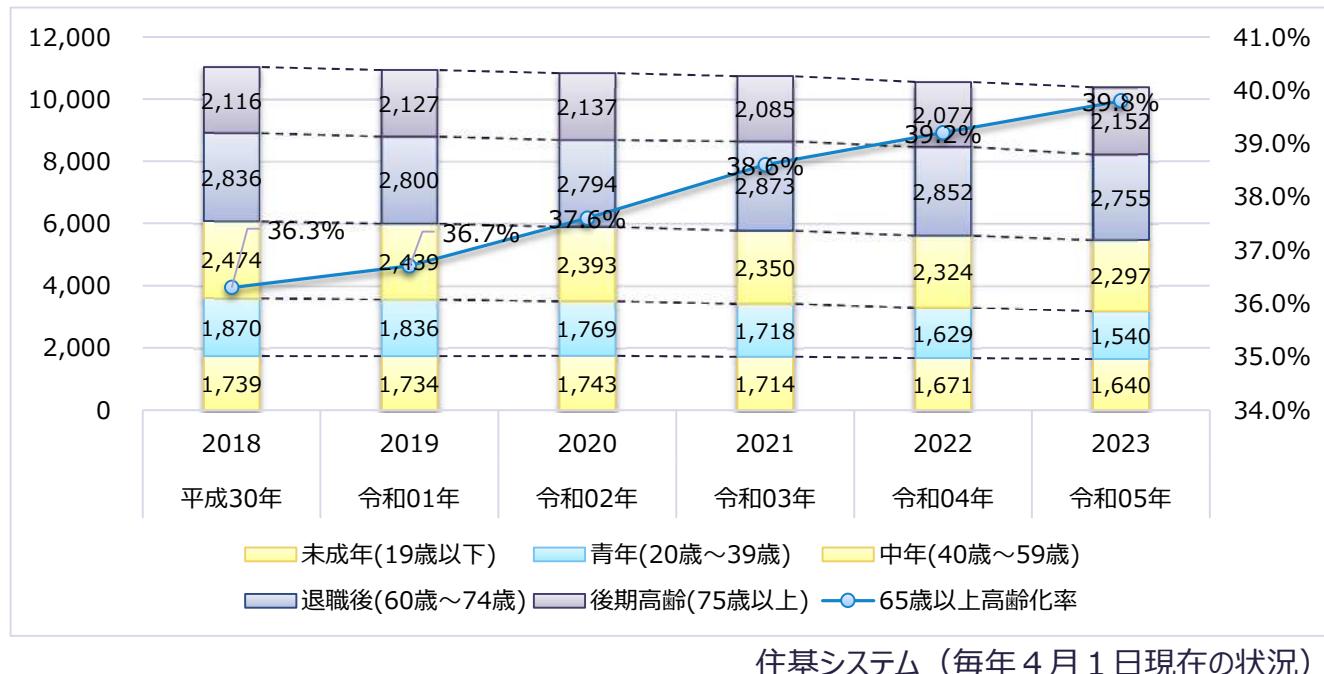
目次

伯耆町の概要	1
伯耆町の人口	1
出生数と死亡数	1
伯耆町民の死因	2
国民健康保険及び後期高齢者医療保険の加入者	3
被保険者の異動状況	3
疾病と医療費の状況	4
医療費の推移	4
疾病大分類別医療費 (国民健康保険)	5
疾病大分類別件数 (国民健康保険)	6
令和 3 年度 疾病大分類別医療費でみる入院・入院外 (国民健康保険)	7
疾病大分類別医療費上位の詳細 (国保)	8
国民健康保険税賦課・徴収状況	10
国民健康保険税の賦課状況	10
国民健康保険税の徴収状況	10
国民健康保険税の収納対策	11
国民健康保険特別会計財政状況	13
令和 4 年度 国民健康保険特別会計 決算見込み	13
令和 5 年度 国民健康保険特別会計 予算	14
給付の適正化対策	15
レセプト点検	15
第三者行為求償事務	15
医療費通知事業	15
ジェネリック医薬品差額通知事業	15
住民健康診査、各種がん検診、人間ドック事業	16
住民健診、各種がん検診、人間ドック	16
特定健康診査 受診率	16
特定健康診査 受診場所	17
特定保健指導 実施率 (法定報告)	17

伯耆町の概要

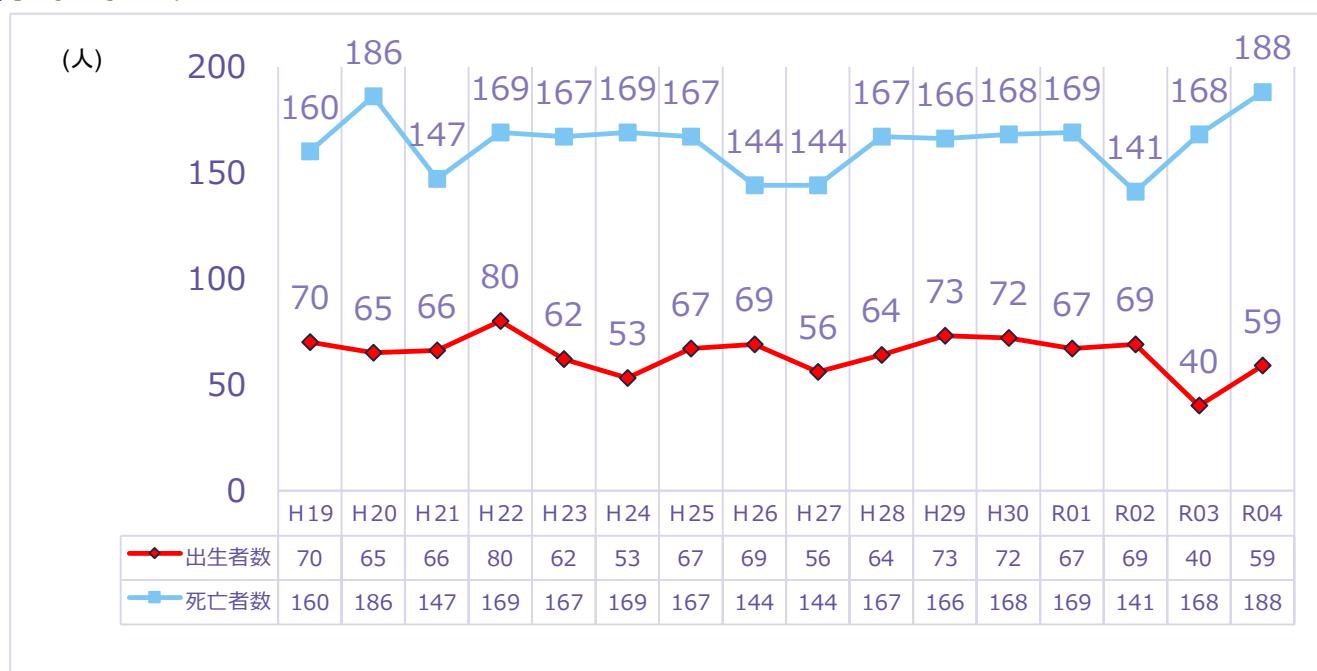
伯耆町の人口

伯耆町の人口は徐々に減少傾向にあります。また、65歳以上の割合を示す高齢化率は令和4年3月現在で39.2%と年々増加しています。



出生数と死亡数

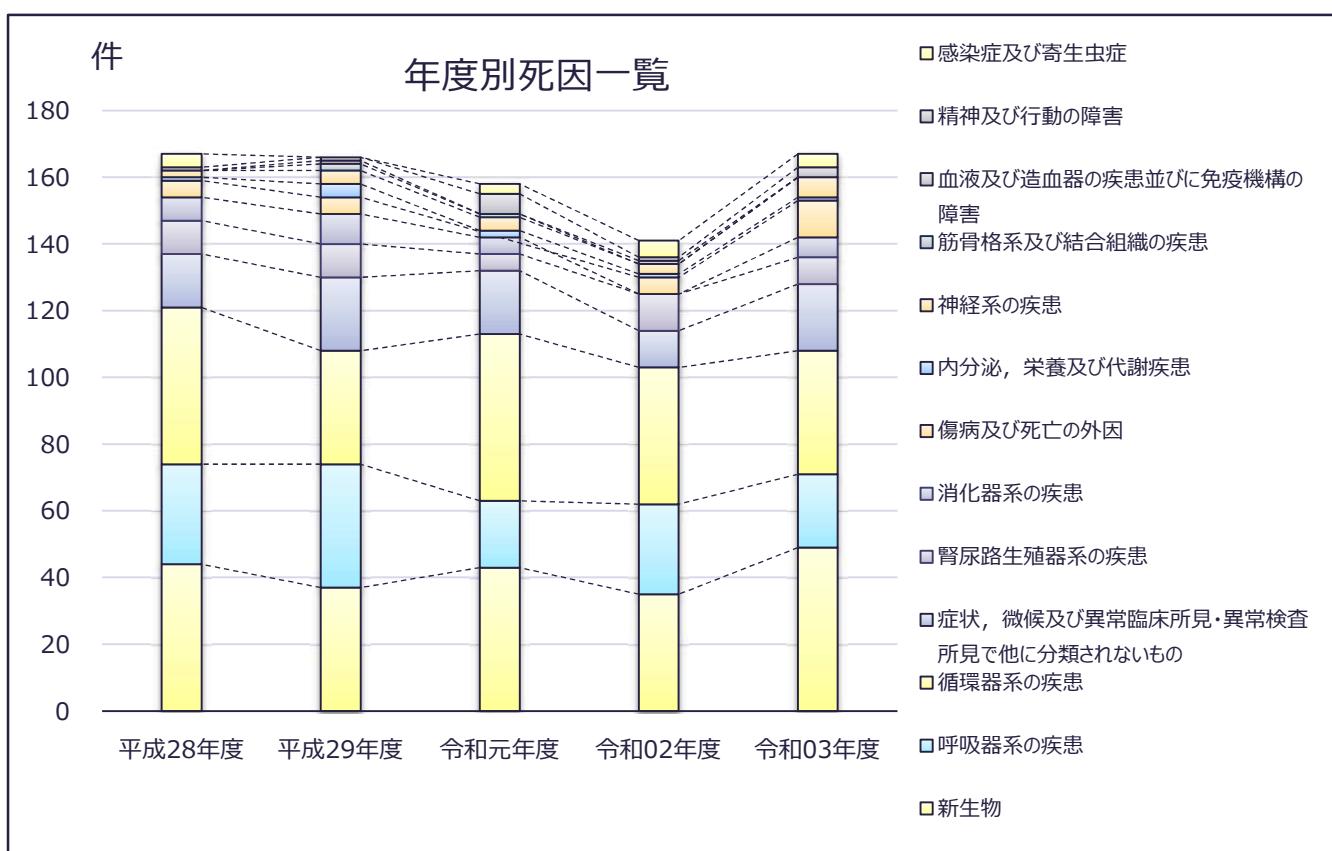
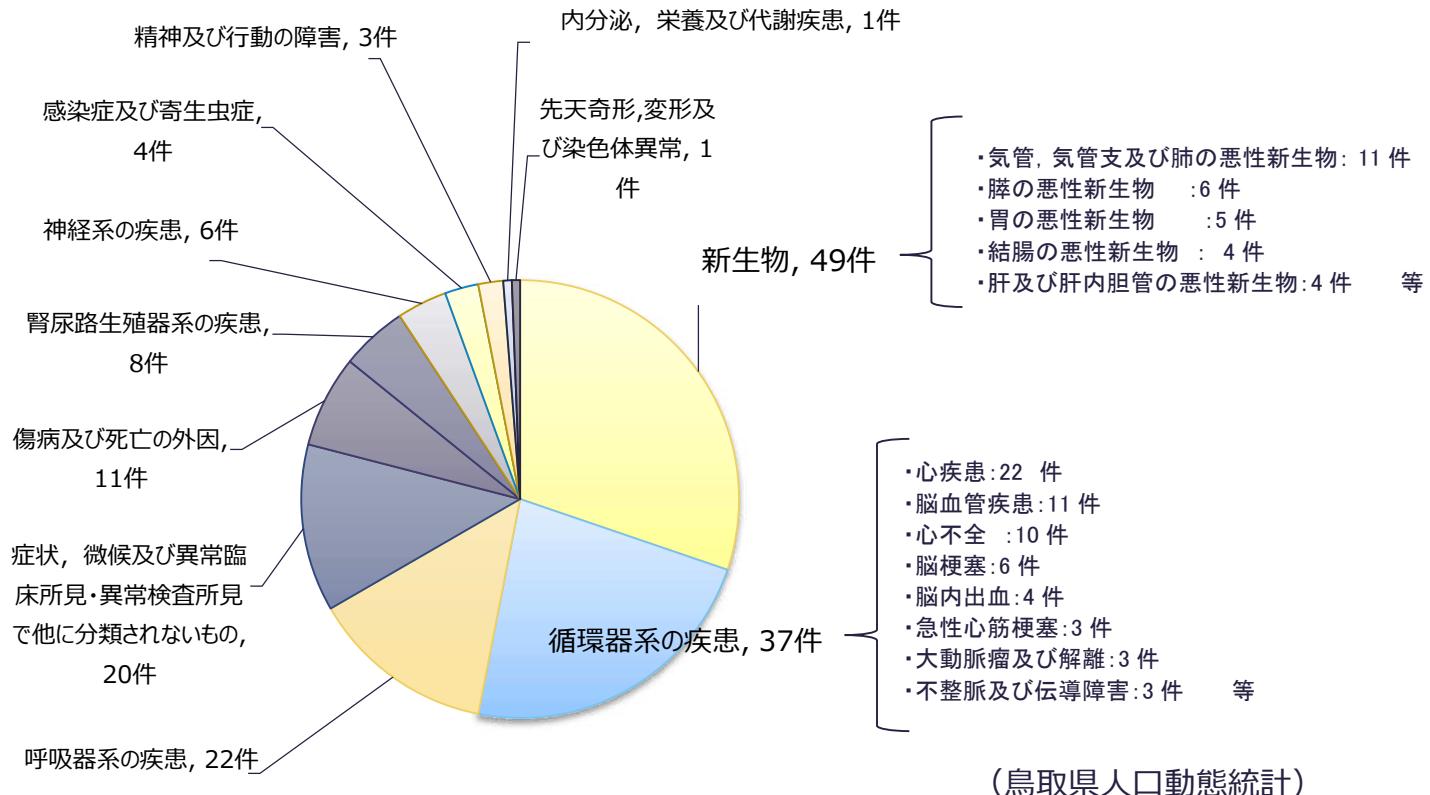
近年出生数については、約70人、死亡数については約170人で推移しており、圧倒的に死亡数が多い状況となっています。



(鳥取県人口動態統計)

伯耆町民の死因

令和3年度の死亡数162件の死因を確認すると、新生物、循環器系の疾患が多い死因となっています。循環器系の疾患の内訳では、心疾患、心不全、脳血管疾患が多く、また、新生物の内訳をみると、気管、気管支及び肺の悪性新生物、肝及び肝内胆管の悪性新生物、胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、膵の悪性新生物が多い結果となります。



※平成 30 年の死因については、鳥取県HPで公表されてないため、データがありません。

国民健康保険及び後期高齢者医療保険の加入者

国民健康保険の被保険者数は徐々に減少しています。また、後期高齢者医療の加入者数についてはほぼ横ばいとなっています。

(国民健康保険加入者)

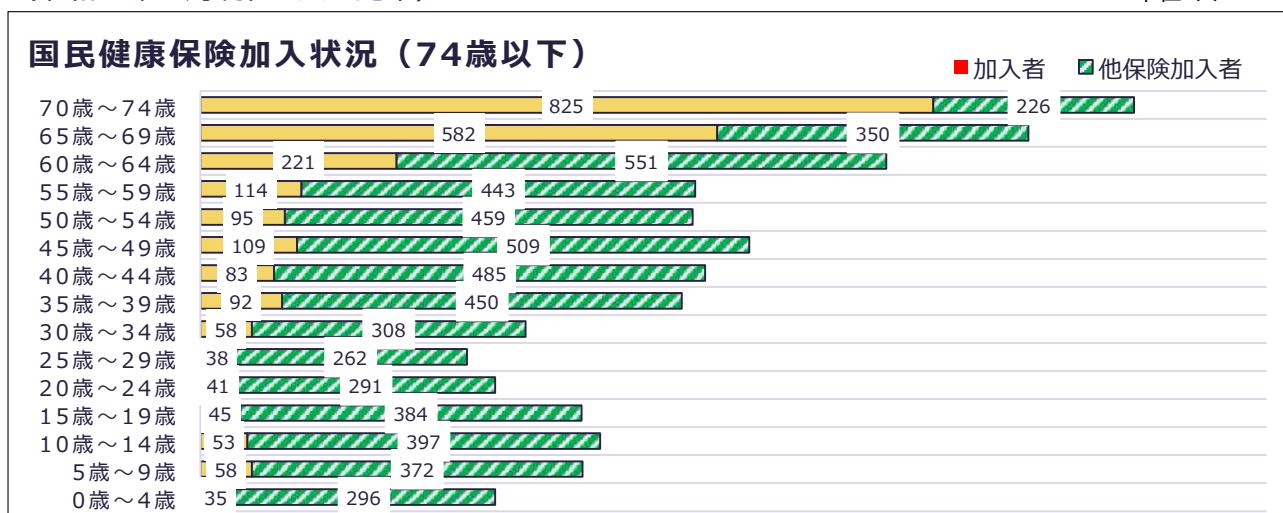
毎年 4月 1日現在

	平成 30 年	平成 31 年	令和 02 年	令和 03 年	令和 04 年	令和 05 年
人 口 (人)	11,035	10,936	10,836	10,740	10,553	10,384
被保険者数 (人)	2,743	2,619	2,607	2,601	2,569	2,449
割 合	24.86%	23.95%	24.06%	24.22%	24.34%	23.58%

(国民健康保険月報)

(令和 4 年 4 月現在の人口比率)

単位:人



被保険者の異動状況（ここまで！！！）

事 由	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度
資格 取得	転入	71	59	65	49	50
	社保離脱	391	312	334	352	353
	生保廃止	4	6	1	2	1
	出生	11	9	9	7	4
	後期離脱	0	0	0	0	0
	その他	19	17	14	35	5
	計	496	403	423	445	413
資格 喪失	転出	61	73	57	61	38
	社保加入	343	267	303	235	265
	生保開始	2	1	6	2	1
	死亡	16	17	21	22	16
	後期加入	125	127	147	123	71
	その他	16	12	13	32	10
	計	563	497	547	475	401
増 減	△67	△94	△124	△30	12	△32

疾病と医療費の状況

○加入者の状況について

国民健康保険の加入者は、人口と比較すると、約 24.3%。また、国民健康保険加入者（2,569 人）のうち、65 歳以上 74 歳未満（1,476 人）は、約 57.4%。

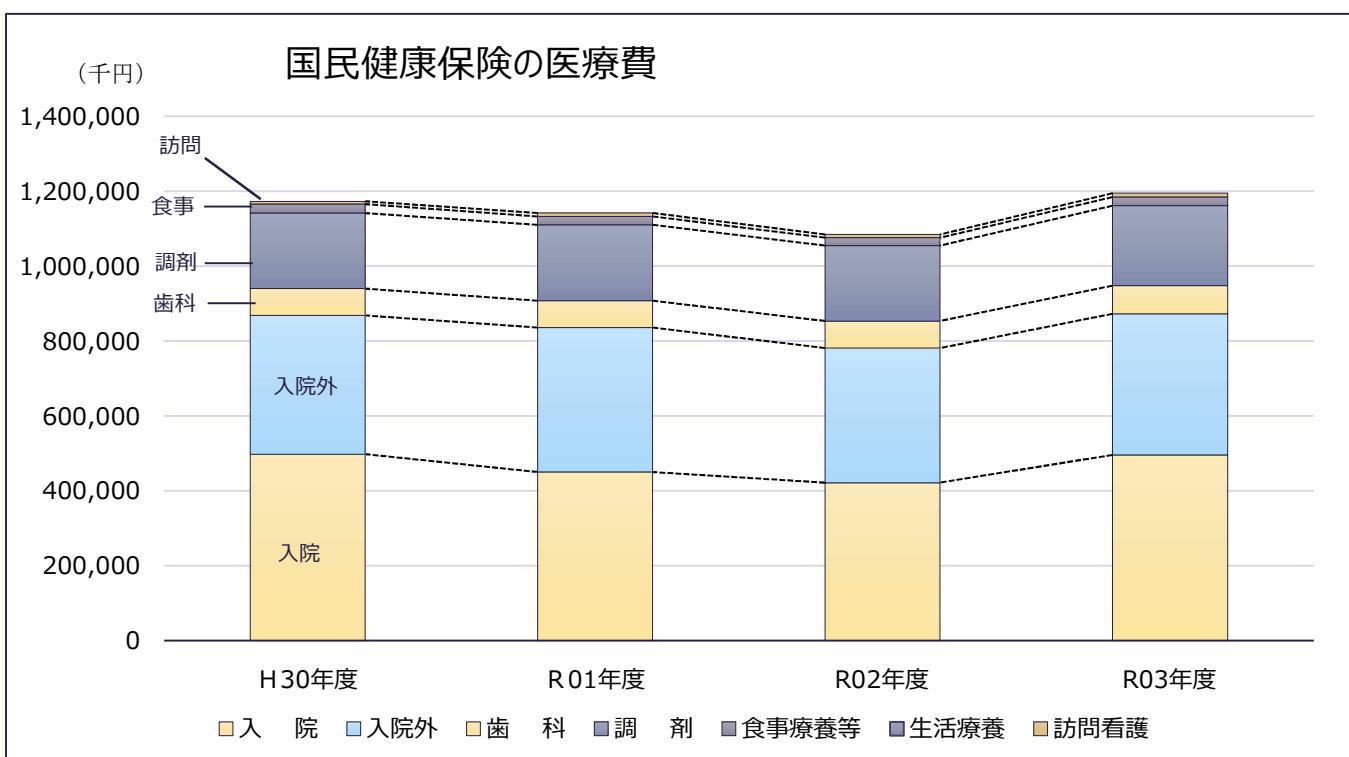
国民健康保険加入者及び後期高齢者医療保険加入者全体(4,630 人) のうち、65 歳以上（3,537 人）が全体の約 76.4%を占めています。

医療費の推移

【国民健康保険の医療費】

(単位 : 円)

項目	H30 年度	R01 年度	R02 年度	R03 年度
入院	498,215,940	450,454,820	422,090,992	496,382,950
入院外	370,300,870	385,784,540	359,382,704	376,719,380
歯科	71,617,790	71,749,330	72,300,320	75,255,490
調剤	201,746,770	202,486,630	201,489,612	213,209,280
食事療養・ 生活療養	23,986,709	22,365,318	20,891,215	23,234,956
訪問看護	7,560,480	9,264,670	8,819,620	10,121,230

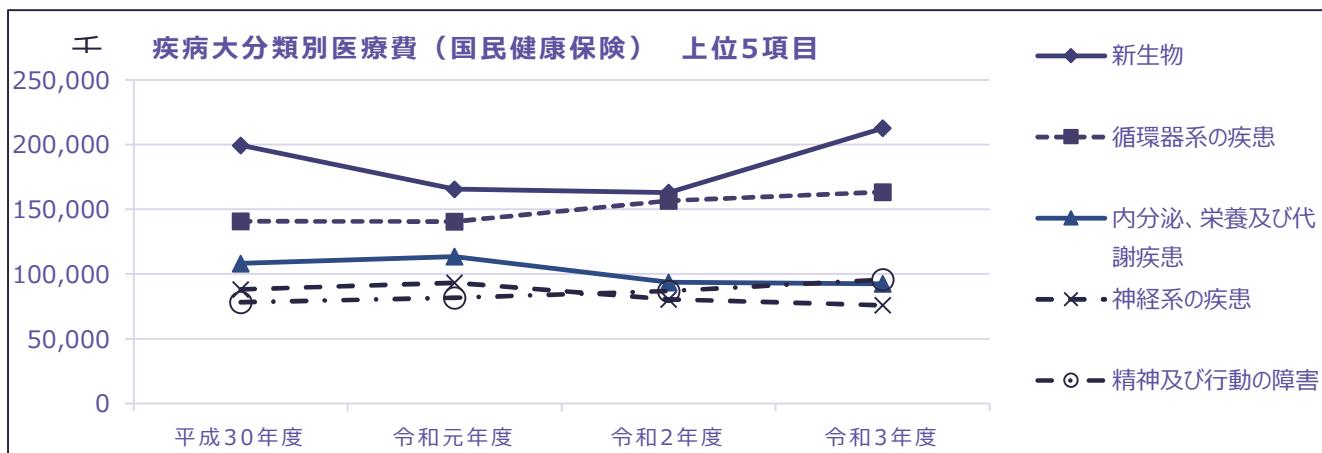


疾病大分類別医療費（国民健康保険）

(単位：千円)

番号	項目名	令和元年度		令和2年度		令和3年度		
		医療費	順位	医療費	順位	医療費	順位	割合
1	感染症及び寄生虫症	30,278	12	16,516	12	20,466	12	1.97%
2	新生物	165,487	1	163,043	1	212,689	1	20.45%
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5,583	14	3,105	15	4,239	15	0.41%
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	113,637	3	93,634	3	92,574	4	8.90%
5	精神及び行動の障害	81,857	5	86,871	4	95,767	3	9.21%
6	神経系の疾患	93,312	4	80,648	5	75,989	5	7.31%
7	眼及び付属器の疾患	43,442	10	43,855	10	48,561	10	4.67%
8	耳及び乳様突起の疾患	3,858	16	2,790	16	3,329	16	0.32%
9	循環器系の疾患	140,612	2	156,715	2	163,381	2	15.71%
10	呼吸器系の疾患	69,870	7	61,469	7	56,482	9	5.43%
11	消化器系の疾患	54,786	9	54,614	8	73,619	6	7.08%
12	皮膚及び皮下組織の疾患	10,099	13	14,734	13	12,521	13	1.20%
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	63,044	8	53,834	9	67,467	8	6.49%
14	尿路性器系の疾患	78,366	6	73,693	6	69,858	7	6.72%
15	妊娠、分娩及び産じょく	1,618	17	140	19	446	18	0.04%
16	周産期に発生した病態	414	18	1,738	17	2,517	17	0.24%
17	先天奇形、変形及び染色体異常	79	19	916	18	69	19	0.01%
18	症状、徵候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの	4,183	15	9,766	14	5,220	14	0.50%
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	32,692	11	29,456	11	34,768	11	3.34%

(KDB システム)

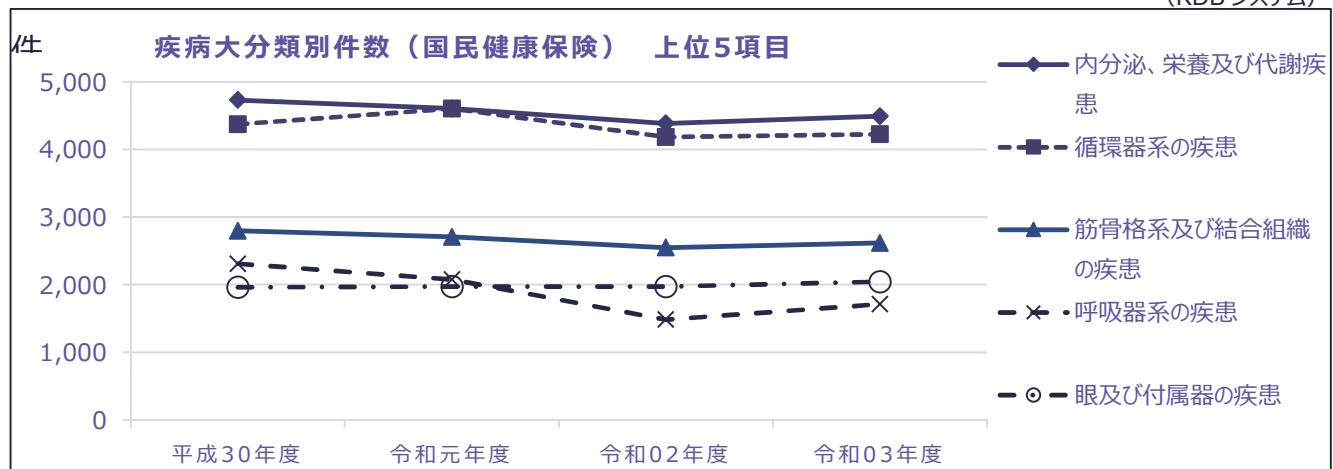


疾病大分類別件数 (国民健康保険)

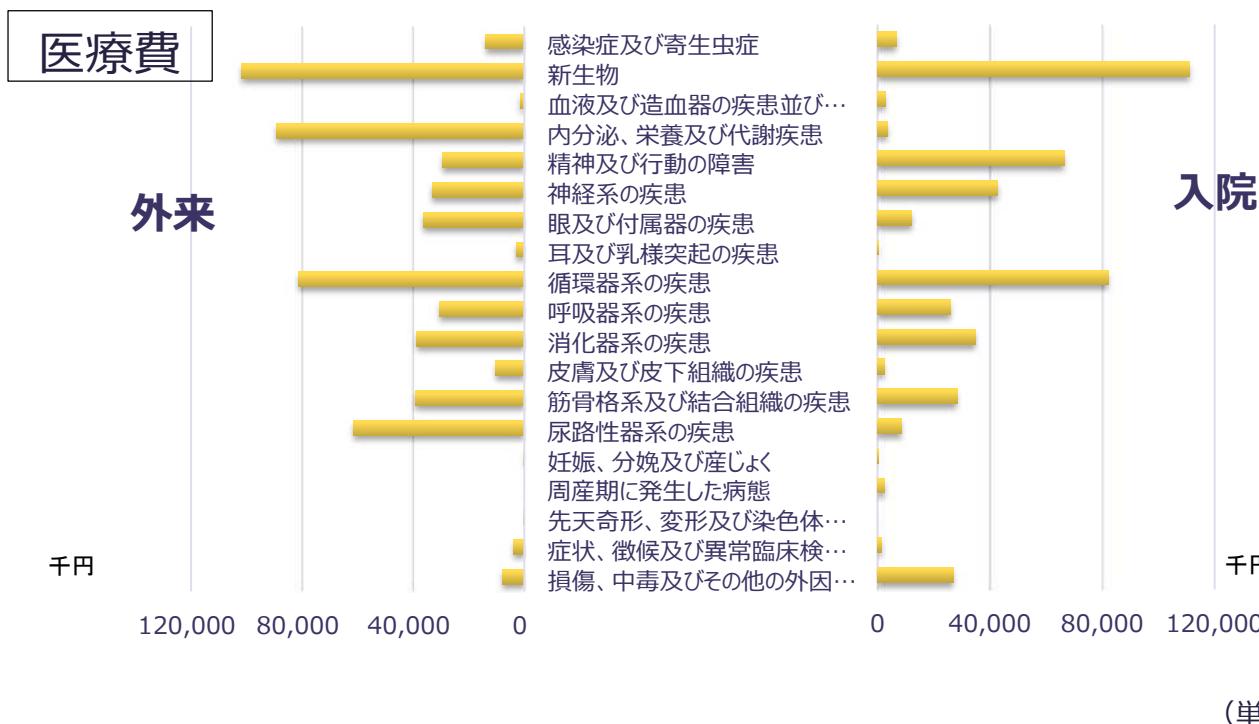
(単位 : 件)

番号	項目名	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		件数	順位	件数	順位	件数	順位
1	感染症及び寄生虫症	546	12	521	12	565	12
2	新生物	746	11	826	11	927	10
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	55	16	54	16	62	16
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	4,604	1	4,385	1	4,491	1
5	精神及び行動の障害	1,292	8	1,298	8	1,456	7
6	神経系の疾患	1,340	7	1,401	7	1,421	8
7	眼及び付属器の疾患	1,975	5	1,971	4	2,046	4
8	耳及び乳様突起の疾患	256	14	230	14	225	15
9	循環器系の疾患	4,345	2	4,184	2	4,224	2
10	呼吸器系の疾患	2,079	4	1,484	5	1,711	5
11	消化器系の疾患	1,564	6	1,471	6	1,689	6
12	皮膚及び皮下組織の疾患	1,016	9	1,113	9	1,005	9
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	2,708	3	2,549	3	2,615	3
14	尿路性器系の疾患	817	10	896	10	833	11
15	妊娠、分娩及び産じょく	39	17	10	18	27	17
16	周産期に発生した病態	3	19	2	19	3	19
17	先天奇形、変形及び染色体異常	13	18	20	17	9	18
18	症状、徵候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの	243	15	222	15	274	14
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	479	13	420	13	485	13

(KDB システム)



令和3年度 疾病大分類別医療費でみる入院・入院外(国民健康保険)

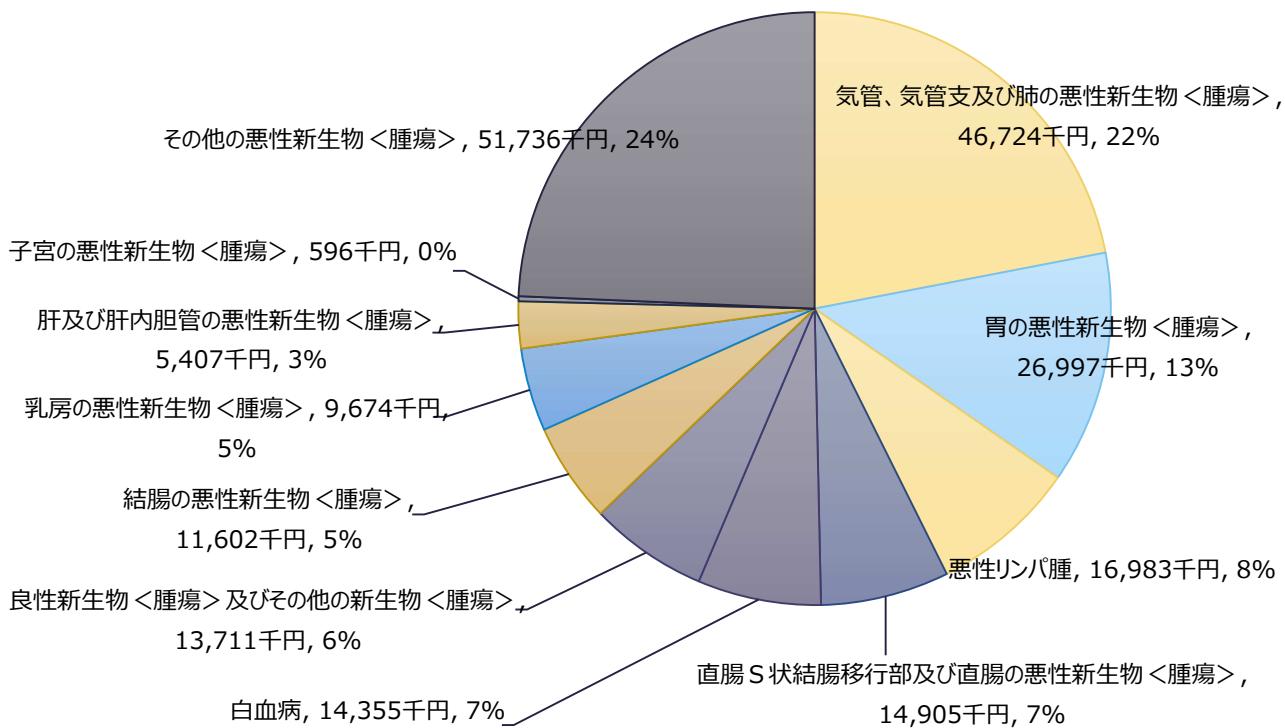


(単位：千円)

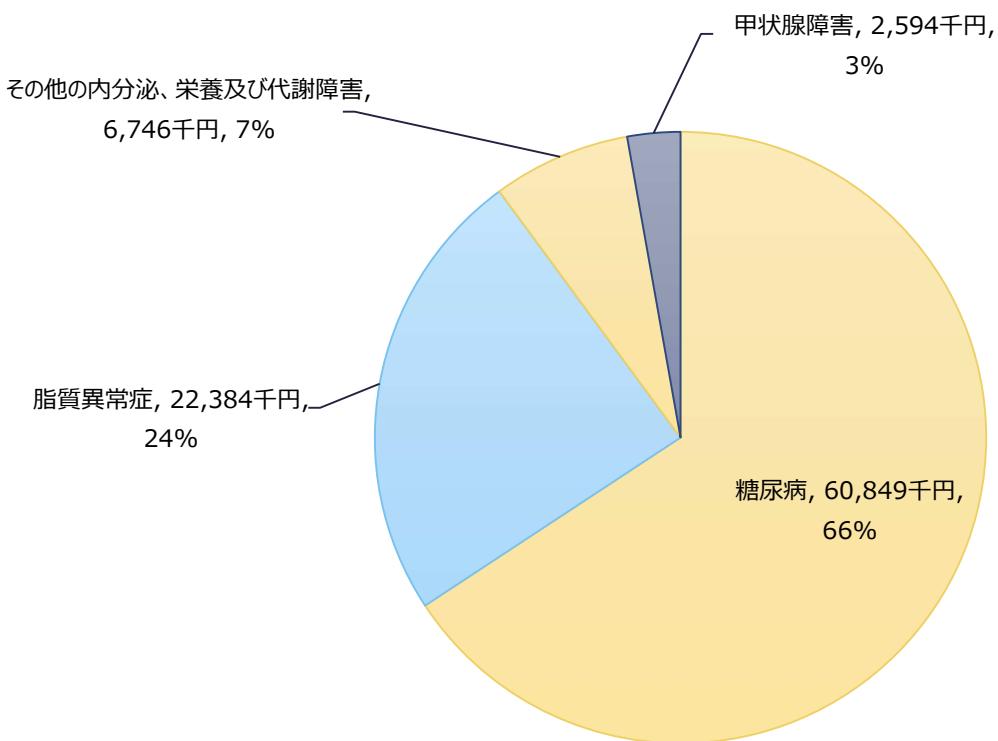
外 来		項 目	入 院	
医療費	件数		医療費	件数
13,785	553	感染症及び寄生虫症	6,681	12
101,680	803	新生生物	111,008	124
1,499	55	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,740	7
89,135	4,483	内分泌、栄養及び代謝疾患	3,439	8
29,404	1,307	精神及び行動の障害	66,363	149
33,230	1,328	神経系の疾患	42,759	93
36,373	2,016	眼及び付属器の疾患	12,188	30
2,900	222	耳及び乳様突起の疾患	429	3
81,190	4,153	循環器系の疾患	82,192	71
30,507	1,668	呼吸器系の疾患	25,975	43
38,775	1,635	消化器系の疾患	34,844	54
10,291	999	皮膚及び皮下組織の疾患	2,230	6
39,286	2,579	筋骨格系及び結合組織の疾患	28,181	36
61,391	812	尿路性器系の疾患	8,467	21
250	25	妊娠、分娩及び産じょく	196	2
0	0	周産期に発生した病態	2,517	3
69	9	先天奇形、変形及び染色体異常	0	0
3,795	268	症状、徵候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの	1,425	6
7,907	439	損傷、中毒及びその他の外因の影響	26,861	46

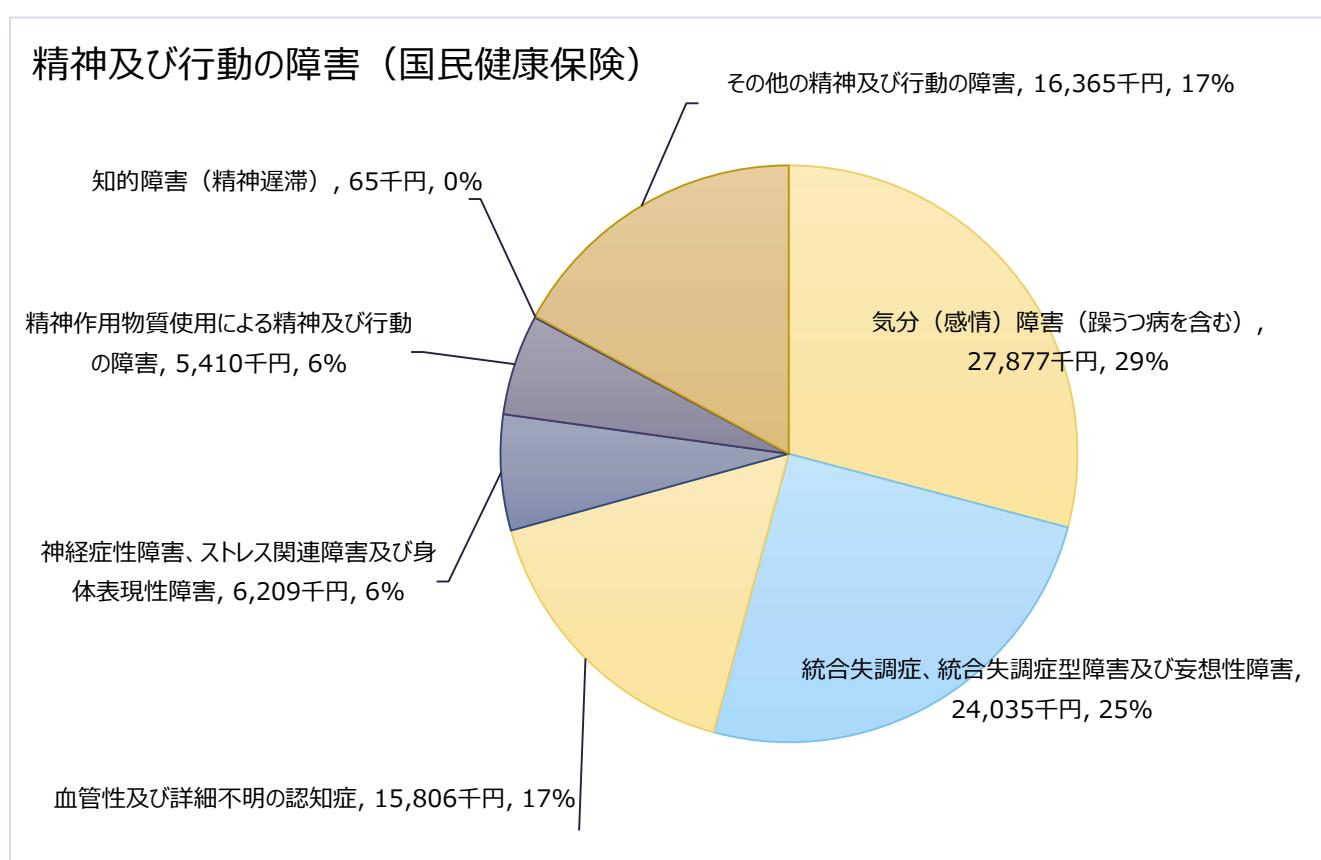
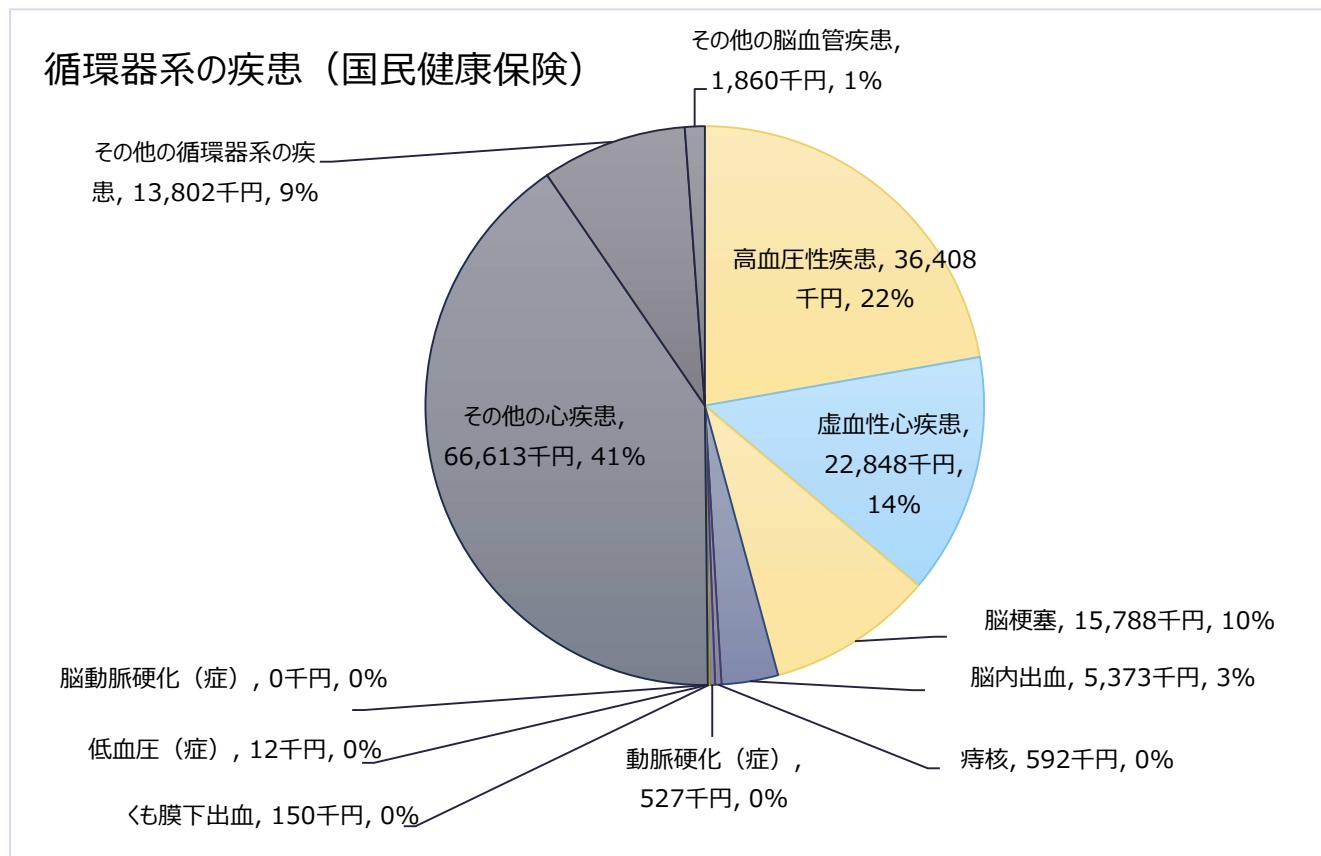
疾病大分類別医療費上位の詳細（国保）

新生物（国民健康保険）



内分泌、栄養及び代謝疾患（国民健康保険）





国民健康保険税賦課・徴収状況

国民健康保険税の賦課状況

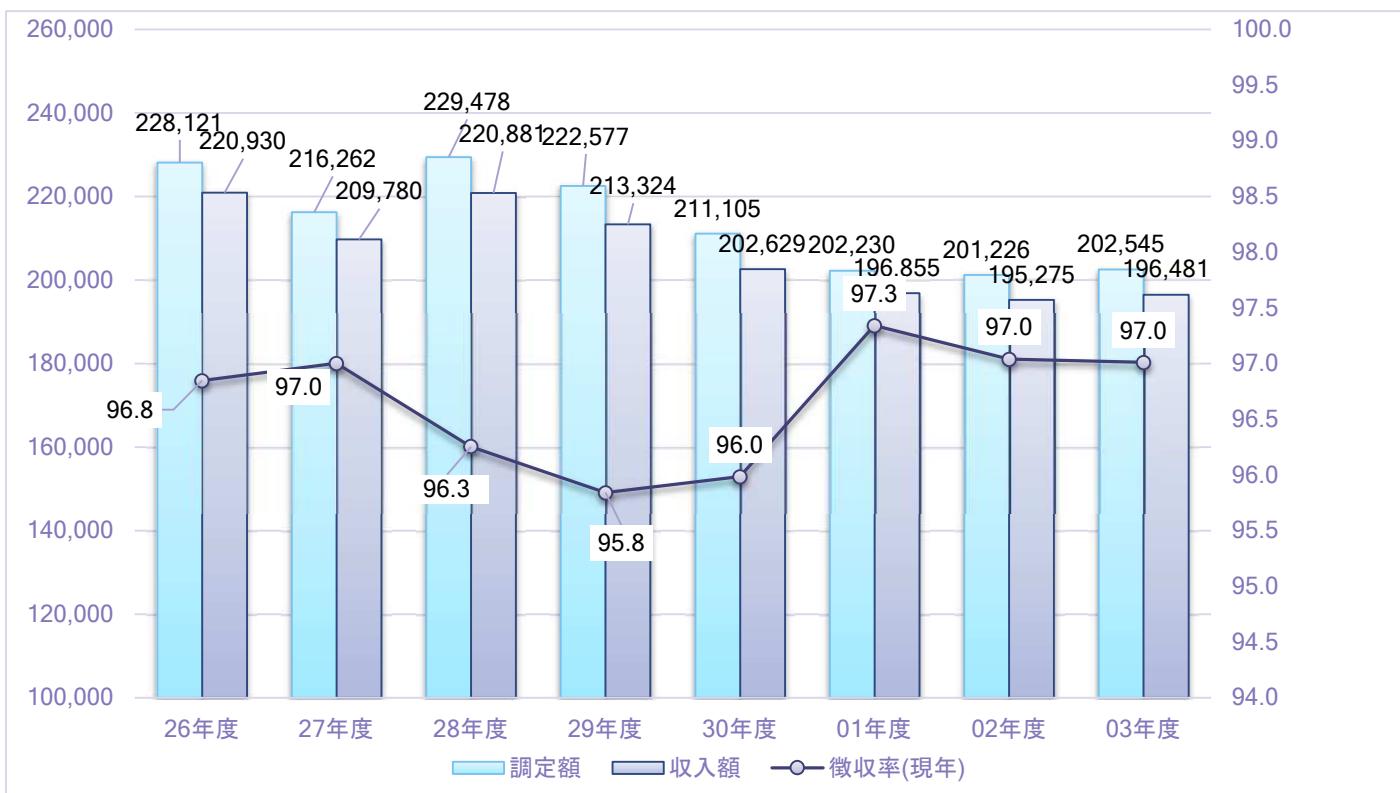
	平成30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
所得割	5.83%	5.83%	5.83%	5.83%	5.83%
資産割	28.90%	28.90%	28.90%	28.90%	28.90%
均等割	21,900円	21,900円	21,900円	21,900円	21,900円
平等割	17,900円	17,900円	17,900円	17,900円	17,900円

※合併以降、税率変更なし。令和5年度についても、変更しない予定。

国民健康保険税の徴収状況

単位：千円

	令和3年度			令和4年度(決算見込)			令和5年度(当初見込)		
	調定	収入	徴収率	調定	収入	徴収率	調定	収入	徴収率
現年分	202,545	196,481	97.01	192,451	186,168	96.7	187,500	181,446	96.8
滞繰分	33,053	7,412	22.42	36,998	6,358	17.2	36,923	7,430	20.1
合計	235,598	203,893	86.54	229,449	192,526	83.9	224,423	188,876	84.2



国民健康保険税の収納対策

【基本方針】

〔滞納整理関係〕

- ・滞納者の年度内完納を図る。
- ・個々の滞納者の滞納額増加を防止する。
- ・悪質滞納者に対しては資格証、短期証の発行及び滞納処分も踏まえた対策を図る。
- ・職員による納付指導体制の強化を図る。（滞納者ごとに担当職員を配置し納付相談、滞納整理を行う。）

〔納期内納付関係〕

- ・納税組合の納期内納付促進の支援を図る。
- ・口座振替の利用促進を図る。（平成 29 年度から口座振替推進キャンペーンを実施）
- ・納期内納付の周知を図る。

【具体的対策】

〔滞納整理の流れ〕

- ①滞納者を徴収方針(催告、分納誓約、呼出候補、差押候補等)ごとに分類
- ②催告書発布
- ③催告書による納付相談により、状況に応じて債権額確認及び分納誓約書を交わす
- ④催告書無反応の者に対し呼出通知により滞納状況及び生活状況聴き取り
- ⑤呼出し無反応者に対し、差押予告書発布
- ⑥差押予告無反応者に対し、滞納処分（預金等差押）執行
- ⑦新規短期証候補者(前年度のみ滞納の者)に対し、文書により告知及び納付相談により納付勧奨を実施
- ⑧口座振替不能者に対し、即日電話催告する

〔滞納処分までの流れ〕

督促状発布⇒催告書発布⇒隨時分納等納付相談実施⇒出頭通知⇒財産調査⇒差押予告⇒滞納処分（預金等差押）

（滞納処分の対象者）

再三の催告書及び出頭通知発布にも関わらず、納付意志がない滞納者に対して、財産調査を行い、差押予告を発布したうえで滞納処分を執行する

〔滞納整理の主な取り組み〕

- ①呼出通知や差押予告など、悪質滞納者への通知については、目立つように黄色の封筒を利用して通知している。
- ②5月と12月の年2回、徴収週間として滞納者に一斉電話催告し、連絡が取れなかった対象者に対して休日や平日の日中・夜間に自宅へ訪問を行っている。
- ③他の部署とも連携をとり、滞納者の情報共有を行って共同徴収を実施している。

※伯耆町債権管理調整会議により策定した「債権管理ガイドライン」「滞納整理マニュアル」の運用による連携・徴収強化

〔納期内納付関係〕

- ①町防災無線、ケーブルテレビ、ＨＰ、情報カレンダーの活用
- ②新規加入者及び納税組合に口座振替を推進

国民健康保険特別会計財政状況

令和4年度 国民健康保険特別会計 決算見込み

(歳入)

単位：千円

区分	予算額 (A)	決算見込額 (B)	増減 (B-A)
保険税	197,745	193,685	△4,060
使用料及び手数料	76	76	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	1,056,325	1,158,259	101,934
財産収入	4	4	0
繰入金	135,492	136,728	1,236
繰越金	45,788	53,946	8,158
諸収入	6	6	0
合 計	1,435,436	1,542,704	107,268

(歳出)

単位：千円

区分	予算額 (A)	決算見込額 (B)	増減 (A-B)
総務費	32,113	26,597	△5,516
療養諸費	1,041,826	1,143,760	101,934
国保事業納付金	289,101	289,101	0
共同事業拠出金	1	1	0
保健事業費	19,226	19,226	0
基金積立金	4	4	0
諸支出金	1,850	1,850	0
予備費	51,315	62,165	10,850
合 計	1,435,436	1,542,704	107,268

【決算見込みのポイント】

(歳入)

- ① 国民健康保険税について減額。（6月補正）

当初予算要求時の見込みから被保険者数が減少。要因としては、後期高齢者医療制度への移行者の増加や、社会保険加入要件の緩和等が考えられる。税率は変更なし、徴収率もほぼ例年通りという状況。

(歳出)

- ② 療養諸費について、療養給付費・高額療養費の増額。（12月補正）

10月末時点において、前年度との比較で支払額が増加していたため、前年度からの上昇率をかけて、R4年度の見込み額とした。※財源である歳入「県支出金（普通交付金）」も併せて増額。

令和5年度 国民健康保険特別会計 予算

(歳入)

単位：千円

区分	予算額 (A)	前年度決算見込額 (B)	増減 (B-A)
保険税	188,876	193,685	△4,809
使用料及び手数料	77	76	1
国庫支出金	55	0	55
県支出金	1,108,447	1,158,259	△49,812
財産収入	4	4	0
繰入金	115,302	136,728	△21,426
繰越金	62,165	53,946	8,219
諸収入	6	6	0
合 計	1,474,932	1,542,704	△67,772

(歳出)

単位：千円

区分	予算額 (A)	決算見込額 (B)	増減 (A-B)
総務費	25,627	26,597	△970
療養諸費	1,093,708	1,143,760	△50,052
国保事業納付金	312,192	289,101	23,091
共同事業拠出金	1	1	0
保健事業費	20,435	19,226	1209
基金積立金	4	4	0
諸支出金	1,850	1,850	0
予備費	21,115	62,165	△41,050
合 計	1,474,932	1,542,704	△67,772

【予算のポイント】

① 国民健康保険税率について

平成 30 年度に大きな制度改正があり、伯耆町として財政的に安定していない状況にあり、また、鳥取県内において保険料水準の統一について検討することが予想されることから、R05 年度については保険税率の変更を行わない。

② 療養諸費等について

療養費については、R02 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少している。R03 年度以降、新型コロナの感染拡大状況により、変動がある。

③ 国保事業納付金について

伯耆町が県に納付する納付の額は、医療費の状況によって大きく変動する。また、令和 5 年度をもって激変緩和措置が終了するため、今後納付金が増額となる。

給付の適正化対策

レセプト点検

項目	対応状況
レセプト点検	医療事務経験者2名をレセプト点検専門員として年間延96日雇い上げ、全レセプトを対象に2ヶ月分を縦覧点検し、調剤報酬明細書との突合・請求点数の点検・重複請求の抽出を実施している。また、高額療養費の支給対象者のレセプトについては、直ちに点検を行い、再審査請求を迅速に実施している。
研修参加	レセプト点検員が参加できるように努めている。

第三者行為求償事務

第三者行為求償とは、交通事故等、第三者（加害者）の不法行為によって生じた保険給付について、保険者（市町等）が立て替えた医療費等を加害者に対して損害賠償請求することです。

（発見方法）

- 1.被保険者からの届出
- 2.レセプト点検における発見
- 3.医療機関等からの通報
- 4.損害保険会社からの通報 等があげられます。

医療費通知事業

自分がいくら医療費を支払ったか、実際の医療費はいくらだったかを確認できるように医療費通知を作成しています。

ジェネリック医薬品差額通知事業

患者負担の軽減と国民健康保険の医療費削減を目的に、国民健康保険被保険者の方にジェネリック医薬品差額通知書をお送りしています。

（ジェネリック医薬品 差額通知書 とは）

現在、服用している先発医薬品からジェネリック医薬品に切替えた場合、薬代の自己負担額がどのくらい軽減できるかを試算した内容のお知らせです。

（伯耆町のジェネリック医薬品数量シェア集計）

数量シェア＝後発医薬品の数量／（後発医薬品のある先発医薬品の数量 + 後発医薬品の数量）

		R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.4
数量シェア	全 体	76.3	77.3	77.9	79.0	77.8	79.6
	医科	58.4	57.0	61.7	62.9	63.9	61.3
	調剤	81.5	82.7	82.8	83.8	81.8	85.0

住民健康診査、各種がん検診、人間ドック事業

住民健診、各種がん検診、人間ドック

(住民健診)

	20歳～39歳	40歳～74歳	75歳以上
種類	健康診査	特定健康診査	後期高齢者健康診査
対象者	町民 (加入保険は問わず)	国民健康保険加入者	後期高齢者医療加入者
形態	・集団健診	・集団健診 ・個別健診（米子市・南部町・日吉 津村・伯耆町）	・集団健診 ・個別健診 (伯耆町内のみ)
予算	一般会計	国民健康保険特別会計	後期高齢者医療特別会計

(人間ドック)

項目	国民健康保険人間ドック
対象者	国保被保険者で、年度末時点での年齢が偶数年齢にある36歳以上の方 ※56歳以上の方は脳ドックとセット受診が可能
助成内容	自己負担 9,000円 (+脳ドックで14,000円)
受診医療機関	博愛病院・日野病院・西伯病院・山陰労災病院・米子医療センター

特定健康診査 受診率

国民健康保険被保険者で、40歳～74歳。（集団・個別・人間ドックによる受診）

年度	対象者数	受診者数	受診率	鳥取県実績	国目標値
H29	2,106人	926人	44.0%	32.1%	60%
H30	2,014人	801人	39.7%	33.4%	60%
R01	1,965人	886人	45.1%	34.2%	60%
R02	1,962人	786人	40.1%	32.5%	60%
R03	1,927人	896人	46.5%	34.5%	60%

特定健康診査 受診場所

年度	特定健康診査			人間ドック
	集団健診	個別医療機関 (町内)	個別医療機関 (町外)	
R01	691	40	23	182
R02	537	86	37	152
R03	558	93	25	79

特定保健指導 実施率（法定報告）

年度	対象者数	受診者数	受診率	鳥取県実績	国目標値
H28	116 人	57 人	49.1%	29.0%	60%
H29	121 人	40 人	33.1%	32.2%	60%
H30	98 人	16 人	16.3%	28.5%	60%
R01	121 人	36 人	29.8%	29.8%	60%
R02	88 人	44 人	50.0%	30.8%	60%
R03	97 人	30 人	30.9%	29.3%	60%

特定保健指導に運動指導を外部委託

生活習慣病の解消に特定保健指導では、食事管理等の指導を行っているが、専門的に運動指導を取り入れて、連携して指導を行う。

- ・食生活指導：食事記録を通じて、管理栄養士等による指導を行う。
- ・運動指導：新たな運動習慣を取り入れてもらうことで、改善を図る。

※運動指導前と後で、対象者の行動変容につながるように生活習慣を見直す機会を与える。（2週間、6回の運動教室に参加）



伯耆町役場 健康対策課 健康増進室
電話 0859-68-5536